

国際委員会報告——世界とつながる日本心理学会

常務理事会は月1度、日本心理学会事務局で開催されます。今回は国際担当常務理事より、国際関連のご報告・ご案内をいたします。まずは間近に迫ったICP2016 Yokohama, 次に日本とMOU（協力協定）を交わしている韓国心理学会からのお知らせ、そして日中韓三カ国シンポジウムについて、となります。

ICP2016 Yokohama / 日本心理学会第80回大会

ICP(アイシーピー)はInternational Congress of Psychologyの略。IUPsyS(アイユーサイエス: International Union of Psychological Science)という世界各国の心理学会の連合とローカルホスト(今回は日本心理学会)により、4年に1度開催されます。第31回のICP2016 Yokohamaは7月24～29日、横浜パシフィコ(横浜駅から徒歩30分、みなとみらい駅から徒歩3分)で開催されます。

ホームページ等でもご案内していますが、2016年の日本心理学会第80回大会は、第31回国際心理学会議(ICP2016)と共同で開催します(会員がICP2016に参加すると第80回大会にも参加したことになります)。事前参加申し込みは6月30日が締め切りです。本誌が刊行される頃には終了しているかもしれませんが、当日参加は可能です!

会議のテーマはDiversity in Harmony: Insights from Psychology。4月26日時点でのアカウント登録者数約8,800名で、文字通り世界各国からの参加があります。オープニング・レクチャーは知能ロボットで有名な石黒浩氏、キノートにはJ.グドール氏、N.アイゼンバーグ氏、S.ゼキ氏、E.ロフトス氏など29人の著名な研究者が名を連ねています。

ICP2016でもう一つご紹介したいのはEmerging Psychologist Program (EPP)です。これは博士課程またはポストクの「アーリーキャリア」にある心理学者を対象としたプログラムです。昨年募集し、選考し、日本を含む18カ国から41人が参加することになりました。会期前後のプログラムのほか、会期中はEPs (Emerging Psychologists)により10のEPシンポジウムが開かれます。初日は5、6コマ目、25日以降は1、2コマ目に開催される予定です。

世界のアーリーキャリアがどのようなことを考え、どのような研究をしているか、会員の皆様にも是非聞きにいらしていただければ幸いです。

先述のように、ICPは4年に1度の祭典。日本では1972年以来44年目の開催です。ハレー彗星のような大会に是非ご参加いただければ幸いです。ICP2016 (Keynote, EPPも含む)は<http://www.icp2016.jp>を、ICP2016 / 日本心理学会第80回大会は<http://www.psych.or.jp/jpa2016/jpa2016.html>をご覧ください。

韓国心理学会への参加

日本心理学会は韓国心理学会とMOUを結んでいます。そのため日本心理学会会員は韓国心理学会大会に、韓国心理学会会員は日本心理学会大会に、一般会員と同じ登録料で参加し、発表できることになっています。2016年度の韓心大会は8月18～20日韓国の群山コンベンションセンターで開催されます。申込書は日本心理学会HPの<http://www.psych.or.jp>の「最新ニュース」「2016年度韓国心理学会(2016年8月18～20日:韓国・群山市)のご案内(申込締切7月15日)」からダウンロードできます。

三カ国シンポジウム

日本心理学会、韓国心理学会、中国心理学会は、毎年大会期間中に持ち回りで「三カ国シンポジウム(Tri-National Symposium)」を開催しています。昨年の三カ国会議は日本がホストとなり、第79回名古屋大会において「いじめの諸相」というテーマで開かれました。日本からは戸田有一氏、竹内和雄氏等の報告、韓国、中国からも2件ずつの報告があり、「いじめ」の現象を理解し、各国の考え方、取り組みについて学ぶ機会となりました。

2016年は、韓国心理学会がホストとなり、韓国心理学会大会の初日、8月19日にLife and the Future of Young Generation in Koreaというテーマで開催されます。詳しくは上記日本心理学会ホームページの「最新ニュース」「日韓中三カ国シンポジウム」発表者の公募(締切2016年5月10日必着)をご覧ください。なお、2017年度は中国で行われる予定です。

以上が常務理事会からの国際関連のご報告・ご案内です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

(国際担当常務理事・北海道大学教授 仲真紀子)